

2020年2月17日

第23回「URUZO!」WG議事録

日時：2020年2月17日 19:00～22:00

場所：ふれあい歯科ごとう

出席：

五島先生（ふれあい歯科ごとう）、板垣先生、佐々木副理事長（NPO法人こつこつ）、稻山様（翔舞会）

藤崎（日本介護食品協議会）、的場（ハウス食品）、鈴木（ヤヨイサンフーズ）、三好（アサヒグループ食品）、木田（マルハニチロ）、石場（明治）（敬称略）

■タベマチ祭り！について

- ・ 今年度も午前中（10-13時）開催、昨年度250名来場
- ・ サンプル：各区分20個
- ・ 配布資料：タベマチフォーラムのレシピブック
食べる力のサポートブック
協議会パンフレット。
- ・ 商品資料：ヘルシーフード様の「はつらつ」50部（未交渉）
各社封入したい資料
- ・ その他：試食セット（日本介護食品協議会）
手提げ袋（日本介護食品協議会）
ポット（アサヒグループ食品）

■JR東京総合病院様へのサンプルセットについて

- ・ 2月17日（月）サンプルセット発送をもって取組スタート。
⇒反応について後日、JR東京総合病院様へ確認する。
- ・ 同封しているアンケートの結果を取組の評価とする。（日本介護食品協議会集約。）

□サンプルセットの今後の利用について

- ・ 病院栄養士を対象とした東京都栄養士会への介入
⇒エイヨ！で議題にあげていただき、URUZO!で東京都栄養士会への訪問を企画する。
(藤崎、的場で対応)
⇒実施可となった場合、ヘルシーフード様へサンプル対応依頼を行う。
- ・ 稲山様からのサンプリング。3区分3個ずつ用意する。

■障がい者への取組に関する継続課題の検討

- ・ 佐々木副理事長より「重症心身障害児（者）の摂食嚥下と食事ケア」ご紹介
- ・ 佐々木副理事長より料理教室のご提案

KT バランスチャートがご家族の食事への理解を深めるツールとなれる。

- ・ 料理教室と食品メーカーの関わりは？

⇒食事提供

食事提供するだけでは、食べられる・食べられないの評価しかできず、

障害者の摂食に関する専門家（小児歯科医師等）がいないと改善に繋がらない。

⇒包括ケアには食品メーカーは介入できない為 URUZO!内での検討ではなく、重症心身障害児（特に、発達障害）の専門家に介入してもらい、新 WG の立ち上げが必要。

□今後の対応

こつこつ+専門家の先生（小児歯科）で障害者の食悩み解決検討のWGを立ち上げ、
そこに URUZO!が関与する方向で検討。

以上

■次回テーマ

- ・JR 東京総合病院様へのサンプルセット進捗確認
- ・タベマチ祭り！の振り返り
- ・スクリーニングテストの仕切り直し

■次回 2020年4月6日（月） 19:00～@ふれあい歯科ごとう

議事録作成：（株）明治 石場 充

議事録確認者：URUZO！